

「コミわか」この一年を振り返って

区長部

若槻の将来を見据えた「新しいまちづくり計画」を立てるための準備を始めました

区長部長 糜谷 英勝

平成29年度は「若槻まちづくり計画」の最終年度にあたります。このため、平成28年度の区長部では、まちづくり計画に基づき実施されてきたこれまでの区長部各事業の見返しと、次の計画を立てるための論点整理を行うと共に、新たなまちづくり計画への足掛かりを求めながら、今年度の事業を進めてきました。

- 1) 本年度は、市長を始めとする各部局と市民との対話集会「活き生き若槻 みんなでトーク」を開催し、若槻地区に近く整備される道路網を活かした循環型公共交通網の整備や、高齢化に対応する地域福祉懇談会の活用による福祉施策の展開、地域防災力向上のための人材育成法の検討など、新たなまちづくり計画の基本となる事柄について、長野市の見解を質すとともに話し合いをしました。
- 2) 3年目を迎える「あいさつ運動」や「高齢者支援運動」は、各区の努力で地域に着実に浸透してきていますが、一方で、活動の方法や内容に課題が見えてきたように思われます。
- 3) 「コミわか福祉推進会議」での福祉課題についての検討を、各区の「地域福祉懇談会」の活動に活かす取り組みが、福祉ワーカーや民生児童委員、福祉推進委員などの協力によって行われました。また、環境関連事業では、市立公民館との共催のもとに、多くの主婦の皆さんのが参加を得て「環境関連施設見学研修」を行いました。
- 4) 昨年、戦後70年の年節目を迎えて盛大に実施してきた「戦没者追悼式」について、今年は、趣旨はそのままに開催規模をやや縮小して、厳かにな雰囲気の下に、国胎寺の慰靈碑の前で開催しました。
- 5) 防災関連事業では、各種の防災研修や防災訓練を実施した他、消防団の行事や訓練に参加し、各区自主防災会の役員としての資質向上を図りました。また、各区の街頭消火器具の更新充実を図るため、消火ホースや保管庫の実態調査を実施し、コミュニティー助成金の申請を行いました。



活き生き若槻みんなでトーク



戦没者追悼式



自主防災会連絡協議会研修会

生活安全部

若槻地区住民の安心安全な暮らしを基に絆を強く

生活安全部長 松田 光久

生活安全部は、防犯部会と交通安全部会の二つの柱で成り立っています。

- 1) 防犯部会では、歩いて見守るパトロール、車で見守るパトロール、青少年の非行防止パトロールとして登下校時の見守り及び危険箇所の点検確認等を定期的に行いました。
- 2) 交通安全部会では、白線塗布事業、児童への街頭指導、ドライバーの安全運転への啓蒙活動を実施しました。

本年度、長野市では車による死亡事故が非常に多く発生しましたので、両部会はより各団体の協力を得て、特別警戒を実施しました。

安全安心な暮らしを続けるには、日頃、個々の自覚と、他人へのささやかな心遣いが大切なことと思いました。

次年度以降もなお一層のご協力をお願いいたします。



歩いて見守るパトロール出発式



交通安全街頭啓発活動